



平成28年 年頭のごあいさつ

地域の「強み」を活かした まちづくり

西尾市長 榎原康正



明

けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えることとお喜び申し上げます。

本年4月には、合併で新市が誕生して5年が経過します。その間「融和」と「協働」、「飛躍」を理念に掲げ市政運営に努め、企業誘致事業や不断の行政改革など、将来を見据えた新たなまちづくりに「オール西尾」でまい進してまいりました。

こうした中、沿岸部を抱える本市では、南海トラフ巨大地震への備えが最重要課題となっております。市民の生命と財産を守るための「防災・減災対策」を重点施策として、引き続き全力で取り組んでまいります。

また、官民連携手法である西尾市独自のPFI事業として進めている公共施設再配置プロジェクトは、本年6月に事業者との契約を予定しております。優先交渉権者として決定公表する本年1月下旬以降も、引き続き市民の皆さまの声を聴く機会を設けてまいりたいと考えております。

さらに、豊富な観光資源の有効活用を目指す観光事業では、本年4月に西尾市観光協会を一般社団法人化します。西三河地域や三河湾沿岸地域などと連携を図りながら、西尾市の魅力を発信・提供できる実効性のある仕組みづくりを充実させてまいります。

人口減少対策と東京一極集中の是正を背景に国が推し進める地方創生では、地域の特色を生かした持続性のあるまちづくりが求められております。本年3月には、5年間で重点的に取り組む「西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。豊かな自然環境の下に産業がバランスよく発展してきたこの地域の「強み」を最大限に活用し、市民の皆さまが安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでまいります。

皆さまには、新たなまちづくりに対し格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



暮らしやすく魅力あふれる 西尾市の実現へ



西尾市議会議員 稲垣 正明



明

けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい平成28年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、市議会に対し格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の市議会を振り返ってみますと、障害を持つ子どもたちの教育充実のために愛知県知事へ「特別支援学校の設立を求める要望書」を提出、さらに名鉄西尾・蒲郡線存続のために名古屋鉄道株式会社へ毎年要望書を提出してきたことなどが報われ、同線の5年間の存続が決定し地域の足が確保されるなど、多くの成果があった年でありました。そして、開かれた議会、民意や衆知を集め行動する議会を目指し、平成25年から取り組んでいる議会改革では、昨年9月に改革の推進力となる「議会改革特別委員会」を設置し「議会基本条例」の制定に向けて本格始動した年ともなりました。

テーマとした議員研修会を開催し、皆さまの付託に応えられるよう議員力のさらなる向上に務め、市政発展のための各種施策を的確に検証することができた年でもありました。

そうした中、真に暮らしやすく魅力あふれる西尾市の実現に向けて、南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災対策、少子高齢化社会への対応、一色地区産業廃棄物処分場跡地問題、そして新しいまちづくりの出発点としての公共施設再配置事業など、克服すべき重要な課題が山積しております。

二元代表制の一翼を担う市議会として、皆さまから英知をいただき、そしてその総意を大切にし、諸課題の解決に向けて全力で傾注するとともに、議会運営などの基本理念を定めた「議会基本条例」の制定を目指し、一層努力してまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。